

ほほえみ 通信

日本各地を襲った台風の影響が拡大し、大災害となりました。喪心よりお見舞い申し上げます。甚大な被害を受けられ、沢山の尊い命が奪われることになりました。備えていてもそれを超えてくる昨今の災害です。どれほど辛く、悲しく大変な思いをなさっていることかと氣遣われてなりません。

そんな台風の影響が出る前の東北で、私と吉井理事長、ボランティアコーディネーターの西井は、第3回「男の介護教室&男性介護者と支援者の全国ネットワーク東北大会」に出場してきました。8年前に襲った東日本大震災の深く大きな爪痕が残る石巻市雄勝町へお招きいただき、石巻赤十字病院にて池田市の取り組みである、男の介護教室池田校の発表の機会を頂きました。大会の前日は、主催者である雄勝診療所の院長で男の介護教室の代表、河瀬聡一朗先生と被災地を回りました。そこには復興までまだまだ遠い現実があり、当時のことを語りべから聴くことができました。

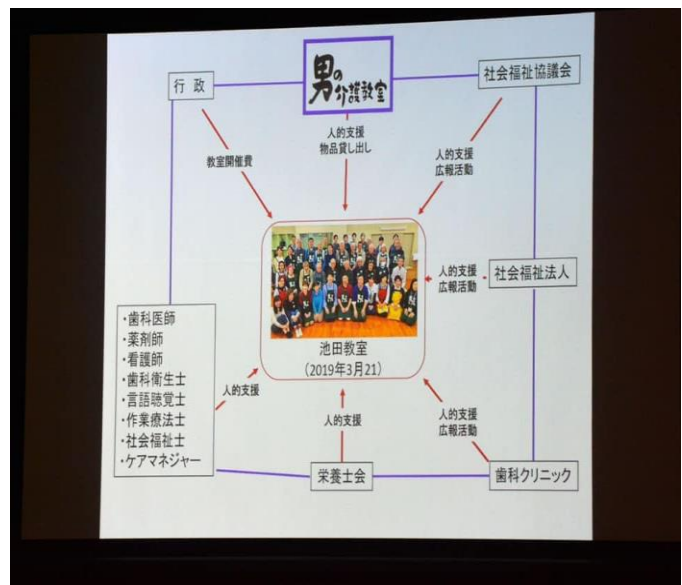
社会福祉法人起生会
特別養護老人ホーム
ほほえみの園
〒563-0053
池田市建石町 8-10
TEL 072-751-9494
令和1年11月1日
第88号

お知らせ
ほほえみ喫茶開店日
11月10日(土)
12月8日(土)
1月10日(土)
14:00~16:00



北は北海道から南は九州まで各地に広がる男の介護教室ですが、高齢化が進む久留米市に住む父を思い立ち上げた教室や、都会で横のつながりが難しい東京での地域コミュニティづくりの拠点として地域の医療法人が活躍する東京校、震災後に一人の男性介護者に向き合い、孤立する男性介護者への支援の必要性を訴える男の介護教室を全国に広めるきっかけを作った石巻の教室などに加え、池田校からは、地域に根付く老人福祉施設が6年間でかけて築いた多職種、他機関、多世代のネットワークが生きる教室を発表させて頂きました。各教室の発表は素晴らしいものでした。大会に参加でき、被災地を視察できたことで、「男の介護教室」が石巻で生まれたことの意味を深く受け止め、継続していきたいと強く思いました。メンバーの一人、石巻市社協の三浦さんの助言のひとつ「種まく人になってください。」を胸に、地域福祉充実の花、大輪を咲かせたいと思います。

(施設長 山田直輝)



特 養

日増しに寒さがつのつてきました。特養では冬布団への切り替えが始まり、夏にフル稼働させていたエアコンフィルターの洗浄も済ませ、冬の足音がすぐそこまで来ているようです。十一月にはインフルエンザ予防接種も控えています。感染症が流行る季節ですが、クリスマスやお正月・初詣など、楽しい行事をいつも通り行えるよう備えて参ります。

敬老会

今年の敬老会はご長寿発表とスタッフの出し物メインでの開催でしたが、たくさんのご家族に参加頂き、賑やかな一日となりました！



ほほえんピック

今年の種目は、玉入れとカーリング！玉入れは下に置いてある箱に手持ちの玉をぽいっと投げ入れるルール。一人の持ち球は決まっているのですが、皆様必死に投げ入れ、落ちると悔し顔で・・・カーリングは丸太のような木の下にコマを付けたオリジナル！モップ状の棒でそれを押し出し点数を競います！みなさん角度や方向を考えて、一人一投なので悔し顔が多かったです！最後はスタッフによる三人四脚。息ぴったりで断トツの一位!! 特養チームはチームワークの良さを発揮し、準優勝を勝ち取りました!!



新人スタッフ紹介

村上 弘紀さん

宝塚市出身の二十三才です。九月から勤務しています。介護に関しては未経験ですが一生懸命頑張りますのでよろしくお願致します。



村田 希三代さん

リハビリ型のデイサービスと兼務しています。火・金の週二日ですがどうぞよろしくお願致します。



北森 優香さん

未経験ですが利用者様にとって良い一日を過ごして頂けるよう一生懸命頑張ります。よろしくお願致します



デイサービス

おやつ作りでソーメン流しとたこ焼き作りを行いました。ソーメン流しでは天然の竹を利用して台所から水をひいてソーメンはもちろんトマトなど流しました。



流れてきたソーメンをうまくつかむ事ができず悪戦苦闘され大変盛り上がりしました。

たこ焼き作りでは、初めはどうなるかと思いましたが、最終的に上手にできました。



思いのほか上手く出来て笑顔です。

敬老会を行いました。

今年の敬老会はフロアリングの改修工事と重なりましたが完成したきれいな床の部分を使用し無事行う事が出来ました。喜寿や米寿の方の表彰式やスタッフによる出し物、新作ゲーム(ストラックアウト)などもあり、

大いに盛り上がりました。今年は工事の関係で御家族やケアマネジャーの皆さんを招待できず申し訳ありませんでした。



皆さん!はじめまして。

安福やすふく 由紀子ゆきこです。



8月19日より入社しました。車の運転が大好きで5年ほど前から道の駅でのご当地グルメ(ソフトクリーム・コーヒー牛乳)や各地のダムめぐりに関西・東海・北陸・関東とめぐっています。目標は全国の都道府県に行く事です(笑) ダムのそばにはダムカレーというメニューがあり楽しく美味しくお勧めです。冬にはスキーなどのウインタースポーツをしています。新しい職場は不慣れですが、頑張りますのでよろしくお願いします。



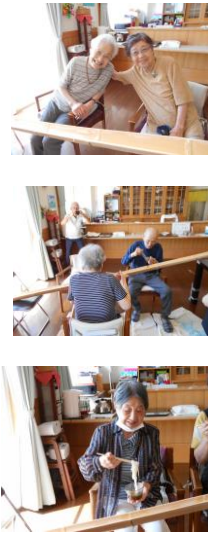
ボランティアの皆様

いつもデイサービスにボランティアに来て頂きありがとうございます。スタッフ一同いつも感謝しております。

ケアハウス 五月園

流しそうめん

毎夏恒例の流しそうめん！皆様「すぐえるかな？」と心配そうでしたが、とても上手で楽しい残しなし。楽しみながらお腹も満たされ大満足でした。



敬老会

今年は、長田百合子様が米寿を迎えられました。家族様も多数ご参加頂きお祝いする事ができました。第二部では「パシールビントーン」さんによるインドネシアの竹製打楽器アンクルンの演奏会があり、美しい音色に癒され幸せなひと時を過ごさせて頂きました。



アロマハンドマッサージ

アロマの香りに包まれながら、優しくハンドマッサージを受け、皆様心身共にリラックスされました♪



ほほえんピック

今年こそは優勝！と練習を頑張りました。その成果が実り見事ケアハウスが優勝しました♪ 来年も目指せ優勝！



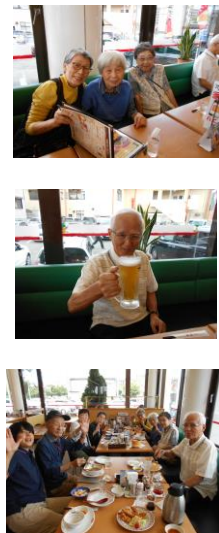
壁面飾り作り

色とりどりのコスモスをたくさん作り秋の風景を皆様で作りました。



外食ツアー

今回はリクエストに応じて、中華料理の「王将」に行きました。



新入居者様紹介



碓井 早苗様

山下 充子様
いつも積極的に行事に参加して下さいます。とても笑顔が素敵な方です。

とても豪快で楽しく親しみやすい方です。気軽に声を掛けてください。

ケアプランセンター

金木犀の甘く爽やかな香りが漂い始めました。運動の秋ですね。最近体力が落ちてきた、外出を減らしているという方に今回は池田市が行っている

短期集中リハビリ教室

をご紹介します。

①対象者：要支援1・2事業対象者で
デイやリハビリのサービス
を利用していない方

②教室・場所：火曜日、木曜日の週2
回、基本3ヶ月
保険福祉総合センターへ通
います。

③費用：2000円/1ヵ月

④3ヶ月の間に毎月1回、理学療法士
や作業療法士が自宅に訪問
しアドバイスをします。

※詳しくは担当ケアマネージャーや地域
包括支援センターにご相談ください。

短期間のプログラムでリハビリを目的
にまずは始めてみませんか。

厨房

いざという時の備えは・・・

ここ数年、日本は何度も大きな地震や風水害に見舞われ、そのたびに日頃から【備え】の大切さを感じさせられます。ほほえみの園でも、非常時に備え食品などの備蓄をしています。今年は賞味期限が迫った食品を消費し、新たな食品を購入しました。買い替えにあたり、非常時の想定を見直し購入食品の種類や数量を大幅に変更しました。現在ほほえみの園では、行政からの指導「最低3日間の備蓄を」をもとに備蓄食品の購入数を増やし、電気や水道などが使えない状況でも全てのご利用者や職員に対して3日間充分に対応出来る体制を整えています。また、調理員を確保し在庫食品を利用すれば、最大7日間をしのぐことができます。

自然災害は突然やってきます。避けようのない災害に対して備えることで、少しでもご利用者やご家族の不安を取り除くことが出来ればと思います。



事務所

インフルエンザ予防接種の

助成金について



インフルエンザが流行する時期に近づいてきました。当施設では十一月に接種を行う予定にしております。

池田市・豊中市・吹田市・箕面市・摂津市・能勢町・豊能町の高齢者の方は自己負担金1500円で予防接種を受けられます。それ以外の市町村の方は事前に当該市町村で市外依頼書を発行してもらい提出して頂けましたら、自己負担金1500円で受けられます。

また、負担軽減(免除)措置もあり、対象は生活保護世帯・令和元年度市民税非課税世帯の方となります。事前に当該市町村で免除証明書を発行して頂き免除申請の提出をお願いします。

また、医療機関にて、料金1500円以上を支払った場合は、差額(上限あり)を償還していただけますので、領収書・印鑑・接種を証明するもの(予防接種済み報告書・予防接種済証・予診票の写し等)、銀行口座のわかるものを持参して当該市町村に接種費用の償還申請をしてください。

今年の夏の終わりは大型台風が襲来し、日本列島を大きく横断しました。ほほえみの園特養では、窓から覗くとほほえみ桜が大きく揺れていましたが、皆様は大きな不安の訴えもなく、「ここにいたら安心や」と静かに過ごされていました。

そんな中、特養でも床の張り替え工事が始まり皆様にご迷惑をおかけしていません。中には「床がパツと明るくなった」と喜んで下さる方もいらっしやいます。順次進んでおりますので今しばらくお待ちください。

今年も「インフルエンザ」の流行する時期となりました。特養では十一月九日に入居者様全員対象に予防接種を予定しております。集団生活の場において、欠かせないもの、罹患した際に重篤化するのを防ぐ為とご理解下さい。当日体調不良等で接種できなかった場合は、二十日を予備日とさせて頂きます。

新入所の方々も慣れてこられたご様子で、随分賑やかになってきているようです。

ご家族の皆様におかれましても、体調の崩れやすい季節です。ご自愛ください。



ヘルプサービス

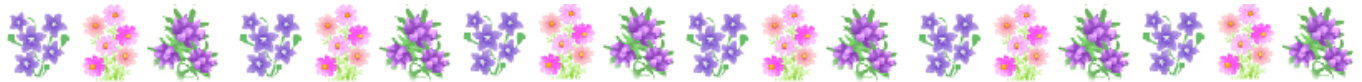
ある日の夕暮れ、ショッピングセンターの一角。ハロウインの衣装が展示販売されているお店の前で、4歳くらいの女の子がお母さんと話をしていました。展示されているサイズのハロウインの衣装はまだ大きいと説明されて、買えないと知った様子。

「ママ、私大きくなって、またこのお店に来て、この洋服を買いたい！」と話した。その言葉に胸が熱くなった私。

いつも、訪問介護の現場では、「もう身体が弱った。何も出来なくなった。しんどい。」と言うセリフを聞き慣れてしまっていた。それらは人生の生い先が短い事を嘆く言葉ばかりだったのかもしれない。

人生って嘆くよりも、希望に向かって進んでいく方がきつと当たり前で、振り向く人生に寄り添いすぎていたように感じた。その為か、自分の心が弱っている事にも気付いた。

高齢者であっても、弱気にならず、未来に向けて希望を持てるように生き続けて頂きたい。また、自分はそうではないと感じた一コマだった。



徒然なるままに

海外からの人にとって日本の着物は見るのも着るのも憧れの文化の一つであるようだ。しかし一般の家庭の主婦にとってはどうだろうか。「箆笥のこやし」という言葉が表す文化とはまるで相容れないが、現実に「ウサギ小屋」と言われる日本の住宅事情の中で最も断捨離の対象になるのが和服であろう。ご他聞に洩れず我が家でもいつも邪魔者扱いにされているのが和ダンスの中の故人達の着物。この度一年発起して主人の母の着物をほどこき、洗って、アイロンをかけ、型紙をのせて裁断し一針一針（糸通しに一苦労！）ゆったりパンツに変身させてみた。友人の中には着物の柄を生かしてビーズなどをあしらって素敵なたブルクロスに変身させる技術を持った器用な方もおられる。

ダンスの中の着物よ！是非二度目の人生を味わってみてください。（JY）

【編集後記】

今年の秋は、台風がいくつも吹き荒れる大変な季節となりました。被災地域の皆様が少しでも早く穏やかな生活を取り戻されますことをお祈りいたします。